

富屋地区
シンボルマーク

みんなで 仲良くやっぺ ふるさと富屋

119号

2026 (令和8年)
9月発行

広報とみや



賑わった徳次郎智賀郡神社夏祭り



3年に一度開催される智賀郡神社例大祭付け祭りが、7月25日(土)に行われ、大勢の人で賑わいました。約120の提灯に照らされた彫刻の美しさ、活気ある軽快な屋台囃子に心が躍り、感動したことと思います。

付け祭りは、6町会の人々によって江戸時代から連綿と続いているもので、平成元年に屋台が宇都宮市指定文化財に指定されたり、令和3年には付け祭りが宇都宮市民遺産



(みや遺産)にも認定されたりしています。私たちは、この素晴らしい伝統ある祭りを後世に伝えていくことが大切です。徳次郎町の方だけでなく、富屋地区の皆さんで知恵を出し合って守り伝えていきましょう。

今回は次の2つの点に変更がありました。

1つ目は、各会所出発時刻の変更です。前回各会所出発が午後4時頃でしたが、午後6時頃となり2時間遅くなりました。

それに伴い西根の神社境内への繰り入れが午後8時となりました。

2つ目は、少子高齢化や人口の減少等により屋台の引手がない。という現実があり、今回は6町会以外にも呼びかけ、引手に協力してくれる人を募集しました。さすが富屋地区！たくさんの方にご協力をいただき、賑やかな付け祭りとなりました。



自治会だより

地域をつなぐ熱気！上町屋台巡行が彩る伝統と絆



人口減少や高齢化で屋台巡行の実施が危ぶまれる中、上町では初のPRチラシを作成し、地域内外の家族へ参加を呼びかけました。当日は里帰りの家族をはじめ、テクノセンターからの外国人参加者や他自治会からの協力も得て、地域の枠を超えた150名以上が結集。おはやしが響き渡る中、子どもからお年寄りまで大勢のみなさんが心を一つに綱を引き、威勢の良い若者たちが屋台を力強く取り囲んで熱気は最高潮に達しました。

巡行する屋台は、日光東照宮五重塔の彫物方棟梁・後藤周治正秀の手による作(文化5年鹿沼造、明治6年譲受)。鬼板や高欄下に刻まれた龍の彫刻が躍動し、見る者を圧倒する凄まじい迫力を放ちます。

多くの方々の支援があり、上町の絆がいつそう深まる3年に一度のかけがえのない時間となりました。

(徳次郎上町自治会長 木村 陽一)

伝聖観音菩薩立像が市指定文化財に指定されました



本像は、徳次郎西根自治会が所有するもので、西根公民館西側の堂内に安置されています。(現在はお堂修繕の計画があることから栃木県立博物館に保管されています)

像高は149.3cm、一木造で、両肘を curve、左手は腰脇で内側に向けて全指を curve、右手は胸脇で掌を正面に向けて全指を伸ばしています。

上半身には襟付きの衣を身に着け、その上に右腰までかかるたすきのような細長い布をかけています。

平安時代前期の様式を伝え、神仏習合をあらわす像として、大変貴重であることから令和7年8月8日に宇都宮市指定文化財に指定されました。西根地区の文化財ではありますが宇都宮市全体の文化財でもあり、富屋の宝です。



第1回ふれあいスポーツ大会を実施しました



5月31日(日)に、富屋地区体育協会主催の第1回ふれあいスポーツモルック大会が行われました。

気温30℃と5月とは思えぬ炎天下の中、約50名の方にご参加いただき、白熱したプレーが展開されました。優勝はなんと、5試合すべてを勝利し、圧倒的な強さを見せた社会福祉協議会チームでした。

午前中だけの大会でしたので、物足りない、まだやりたいとの声上がるほどの大盛況でした。

第2回モルック大会を冬に予定していますので、また、皆さんで楽しみましょう。(富屋地区体育協会)



結果

優勝	社協チーム
2位	体協チーム
3位	池田浩之チーム



富屋に学ぶ子どもたち

○「音あわせは 心あわせ♪」(リズム・マーチング)

山王認定こども園 中里 光江

山王認定こども園では、保育の中にリズム遊びを取り入れています。

富屋地区のふるさとまつりでは、毎年、年長組がマーチングを披露させていただいていますので、見たことがある方もいらっしゃるかもしれませんね。

日々の保育において、乳児組の頃から身近なもので音を奏でてみたり、音楽に合わせて体を動かしてみたりという遊びを取り入れ、年少組の後半になると講師によるリトミック、年中組の後半にはマーチングの基礎になるリズム遊びが始まります。長い年月をかけて音に親し



年長組が年中組に使い方を教えます。

み、皆様に披露できる演技へとつながっています。

マーチングが始まって30年以上。年長組から年中組へと楽器が引き継がれ、歴史を繋いでいます。「音あわせは 心あわせ♪」 みんなでひとつのことに取り組むことが、友だちとの結びつきを強めていると感じます。

今年度は、年長組26名で『ミッキーマウス・マーチ』『バイマックスメドレー』を披露する予定ですので、ぜひ応援してください。



昨年のふるさとまつりでの発表

富屋の歴史・文化ガイド養成講座

富屋生涯学習センター主催の「富屋の歴史・ガイド養成講座（全5回）」が6月から7月にかけて開催され総勢32名の方が参加しました。今回の講座は「6月6日(土)徳次郎城の史跡」、「6月13日(土)下横倉城の史跡」、「6月20日(土)智賀都神社の歴史」、「7月4日(土)伝法寺の仏像」、「7月11日(土)徳次郎石の石蔵」を実施しました。各講座における座学と実地見聞によって知見を深め、最終日には参加された皆さんに修了証が贈呈されました。



参加者はお元気な大先輩の方もいらっしゃり、その活力と探求心には脱帽いたしました。また富屋地区外の歴史マニアの方々も多くいらっしゃり、地元住民より富屋の史跡をご存知の方もいて楽しく交流することができました。今後はもっと富屋地区住民の方にも多く参加していただき地元を知っていただくイベントにできればと感じました。

ここで一句「いにしへの 千勝の森の 二槻の 今も立ち添う 千代に女夫と」(たま)

暑さに負けず 富屋地区球技大会



7月5日(日)、曇り空の下、富屋地区体育協会主催の球技大会が開催されました。富屋地区市民センターを含めた8チームが参加し、ボウリング・ソフトボール・グランドゴルフ・ソフトバレーボール・モルックの5種目競技で熱戦を繰り広げました。

結 果	
総合優勝	下町
準優勝	東部
第3位	南部

特にモルックはフィンランド発祥の木製投擲スポーツであり、老若男女、年齢を問わず競い合うことができます。初めての方でも臆することなく参加でき、大変盛り上がりしました。しかし、参加してみて“この競技”実は、頭脳とテクニックを要し一投に集中するたいへん奥の深いスポーツであること、鍛錬することにより、より一層エキサイトできるスポーツだと感じました。皆さんも機会がありましたら、是非ご参加下さい。

ふるさと再発見 ⑨

例大祭の清め祓い



徳次郎町にある智賀都神社は、奈良時代の宝亀9年(778)旧暦6月20日に創建されたと伝えられ、創建日に例大祭が行われてきました。しかし明治43年(1910)に旧暦から新暦に改められ、祭日は8月1日となりました。

以来、この日の午前中に例大祭、夕刻から付け祭りが行われ、更に付け祭り(屋台の奉納)は、平成13年から7月最終土曜日に変更されました。

令和8年の付け祭りは天候に恵まれ、6町会から絢爛豪華な彫刻屋台とお囃子が無事奉納されました。また、8月1日の例大祭では、初めに社殿前に設けられた「祓所」で清め祓いの儀式が行われ、その後本殿で祈願の儀式が斎行されました。例大祭において「祓所」まで設ける神社は、今日では大変珍しくなりましたが、当社ではこの日古式に則り、4本の真竹と注連縄が張られた祭壇に向かって、神職、氏子総代、自治会長らが清め祓いを行いました。(文化財調査員 池田貞夫)

ワクワク！親子レクリエーション「マスのつかみどり」

8月23日(日)、曇天のもと、まちづくり連絡協議会青少年健全育成部会主催および社会福祉協議会の共催による親子レクリエーション「マスつかみどり」が二宮堰公園で開催されました。前日、まち協役員及び環境部会員・各自治会長の方々の協力により整備された会場には児童・保護者・来賓など160名近い参加者で賑わいました。



約30m程にせき止められた川には約400匹のマスが放たれ、逃げ回るマスめがけ我先にと飛びかかる子、マスの動きを観察し岩場に追い込む子、はじめてマスに触れる子、恐る恐る川に入る子など様々。しかし、いつしか協力し合い、捕まえることができ喜び合うキラキラした笑顔と歓声がとても印象的でした。保護者の方は捕まえたマスをさばき、串に刺して、大汗をかきながら炭火でおいしいマスの塩焼きを作ってください、本当にご苦労様でした。マスの塩焼きをおいしくほおぼる子供たちの喜ぶ顔は親御さんとしても達成感を得たのではないのでしょうか。

川のせせらぎ、深緑の山々、蝉の声、今日食べたマスの塩辛さは、夏休みの思い出として、もっと多くの子供たちに体験させてあげたい素晴らしいイベントでした。

個性あふれる竹製の壁飾り作り



8月25日(火)に富屋地区婦人会は、上町の北條正明さんを講師としてお招きし、手芸教室を実施しました。今回は、講師の手作りによる竹籠を使った壁飾り作りです。

まず、講師から材料や工程などの説明を聞き、多くの参考作品を鑑賞しました。その後、自分のイメージに合った竹籠や飾る花や葉を選び、制作がスタートしました。和気あいあいとした雰囲気でしたが、花や葉をいざ竹籠に固定しようとするとなかなか思うようにいかないなど、次第に会話がなくなるくらい真剣に取り組んでいました。時間をかけ、悪戦苦闘しながら、それぞれのセンスの光る素敵な作品が出来上がりました。

この作品は、ふるさとまつりに展示をしますので、ぜひご覧になってください。
(富屋地区婦人会)



広報とみや118号に誤りがありましたので訂正し、お詫び申し上げます。

- ・富屋地区まちづくり連絡協議会役員に「広報部会長 矢田部芳仁」さんを加筆ください。
- ・富屋地区連合自治会役員会計「小堀ひろみ」さんを「小堀ひとみ」さんに修正お願いします。
- ・事業計画の富屋地区球技大会は、7月5日(日)に実施されました。

富屋地区のデータ

(令和8年8月末日現在)

世帯数 1,656世帯

総人口 3,233人

男 性 1,501人

女 性 1,732人

今後の主な事業計画

10月17日(土) ファイト！とみや2026

11月1日(日) とみやふるさとまつり

11月29日(日) とみやそばまつり

11月29日(日) 徳次郎宿ツアー

■ 編集・発行 ■

富屋地区まちづくり連絡協議会

〒321-2116

宇都宮市徳次郎町80番地2

(富屋地区市民センター内)

☎028-665-1663